

**問題No.1**

広告プランに関する次の記述のうち、最も適当なものを選びなさい。

1. 広告プランは、メディア計画よりも上位に位置する。
2. 広告プランは、企画が出来上がったことで完了する。
3. 広告プランの中で、最も重要なものは広告制作予算である。
4. 広告プランの中で、プランは市場（マーケット）環境分析を前提として作られる。

**答 4**

---

**問題No.2**

廃棄したものを再利用する資源リサイクルに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 使用にあたって廃棄物の発生を極力抑制することを図る。
2. ビールびん等のように、洗浄して繰り返し使用する。
3. 一度資源化し、原材料として再び作り直す。
4. 容器包装は、リサイクルしやすいようなデザインにする。

**【解説】**

容器包装リサイクル法では、容器包装のデザインまでは言及していない。

**答 4**

---

**問題No.3**

改正中心市街地活性化法（2006年8月施行）では、市町村が作成する基本計画を国が認定する制度が新設されたが、次の認定の要件として、最も不適当なものはどれか。

1. 地域の実情に応じ、活性化の目標が適切に設定されること
2. 活性化の目標の達成状況が、的確に把握できる数値目標が設定されていること
3. 具体的な取り組みの効果が発現する時期を考慮した計画期間が、明確に定められていること
4. 中心市街地の区域設定にあたっては、法改正前にすでに策定された活性化基本計画の区域範囲を変更しないこと

**【解説】**

法改正により設けられた認定制度では、既存の活性化基本計画とは別に新たに市町村による活性化基本計画の作成に対する認定基準が設けられた。

**答 4**

---

**問題No.4**

まちづくり3法と総称される法律に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 改正都市計画法
2. 首都圏整備法

3. 中心市街地活性化法
4. 大規模小売店舗立地法

**【解説】**

2. 首都圏整備法は、まちづくり三法に含まれない。

答 2

---

**問題No.5**

フランチャイズチェーン（FC）に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. FCは加盟店同士の横のつながりが強い。
2. FCの本部には商品を仕入れるセクションとして、商品部、販売促進を企画する販売促進部がある。
3. 本部で物流の施設や機能をもって加盟店に商品を供給していく場合には、物流部などが存在している。
4. FCは本部（フランチャイザー）が経営を行っているところであり、本部の経営に同意したものが加盟して契約店（フランチャイジー）となる。

**【解説】**

2～4. 「商業施設・創造とデザイン」 Ⅲ. さまざまな商業のかたち3-(8)フランチャイズチェーン・ボランティアチェーン P.85参照

答 1

---

**問題No.6**

循環型社会形成推進基本法に関連する法律について、最も関係の薄いものはどれか。

1. 改正廃棄物処理法
2. 改正道路交通法
3. 環境物品調達推進法
4. 容器包装リサイクル法

**【解説】**

2. 改正道路交通法は、循環型社会形成推進基本法に含まれない。

答 2

**問題No.7**

少子高齢化により、近年、飲食業界において「人手不足」が深刻化している。

新たに導入されるようになった「人手不足」の解消策に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 団塊世代を積極的に活用
2. 日払いによる賃金支給方法を導入
3. 複数店舗で働くことができる制度を導入
4. 長時間働くことができる制度を導入

答 4

**問題No.8**

近年、消費者の旅行意欲は引き続き旺盛で、旅行会社各社による新たな顧客の取り込みが積極的に行われている。「コト」要素を盛り込んだ旅行会社各社の新商品や新サービスに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 赤ちゃんと一緒に旅行を楽しめるように、乳菌ブラシや体温を下げるシート、オムツ等をパッケージした商品売り出した
2. ショッピングセンター内にトラベルカフェとして出店した。
3. 富裕層向けに旅行専門店を開業した。
4. パスポート申請・受理の代行サービスを始めた。

**【解説】**

4. 受理は本人でなければならない。

答 4

**問題No.9**

商業の現場の実際と傾向における、「時代の傾向」について最も不適当なものはどれか。

1. 一国が大国になるまでに歩むステップは、高度成長時代→バブル経済時代→低迷成長時代→停滞経済時代→安定経済時代の5つである。
2. 我が国は、今、成長期の右肩上がり経済時代から、調整期であるデフレ経済時代を経て、新しいニーズに基づく右下がり経済の時代に進もうとしている。
3. バブル崩壊後百貨店業界や積極出店とチェーンオペレーションにより大量消費時代を支えたGMS業界も厳しいリストラの風が吹いている。
4. 急成長のコンビニエンス業界も過当競争にさらされており、一方でアメリカのコンビニエンスにおいては、24時間営業が当たり前のSM業界にシェアを奪われたようなことが日本でも起こりうる。

**【解説】**

経済は徐々に回復し右肩上がり状態になりつつある。

答 2

**問題No.10**

LCA (ライフサイクルアセスメント) を考慮した設計に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. エネルギーの有効利用、省エネや省資源、少廃棄物を考慮した設計
2. イニシャルコストを重視した設計
3. エコマテリアルの採用、環境負荷を削減する材料を使う設計
4. 廃棄物の適正処分

**【解説】**

LCA (ライフサイクルアセスメント) を考慮した設計では生涯を見据えた設計が重要で、イニシャルコストのみならずランニングコストへの配慮も重要である。  
「商業施設・創造とデザイン」、Ⅳ. 建築計画9-(11) P.335参照

答 2

**問題No.11**

バリアフリーデザインに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 身障者用便所の内法は、 $2 \times 2$  m以上とし、便座の周囲に手すりを設ける。
2. 廊下にスロープを設ける場合には、 $1/12$ 以下の勾配にとし手すりを設ける。
3. 階段はできるだけ勾配をゆるくし、踊り場は回り階段とする。
4. 車椅子のすれ違いができる廊下幅は、180cm以上が必要である。

**【解説】**

回り階段は健常者にとっても安全性は低くなるので好ましくない。ハートビル法では、主たる階段には回り階段を設けないとしている。また東京都建築安全条例でも第2章第9節 障害者及び高齢者に配慮を要する特殊建築物の条文の中に同様の規定がある。

答 3

**問題No.12**

次の記述のうち、照明に関連しない言葉はどれか。

1. 輝度
2. サバンナ効果
3. 色温度
4. コラージュ

**【解説】**

照明用語は多岐にわたるが、

1. 輝度はある方向から見た物の輝きの強さのこと。
2. サバンナ効果とは、店舗では奥の照明を明るくすると、店内に奥行き感が生まれ、入りやすくなる効果のこと。森からサバンナ（大草原）にでた時にもっと先に行きたいという好奇心を持たせるところに由来する。
3. 色温度は光源の見かけの色を数値で表したもので、青みがかった色ほど色温度が高く、赤みがかった光ほど色温度が低い。
4. コラージュは、デザイン用語。新聞・写真・冊子の切り抜きや、布・木片・針金などの材料を貼り合わせ、それぞれの材料の相乗効果で表現する絵画構成法のこと。

**答 4**

---

**問題No.13**

市場（しじょう）（マーケット）と施設計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. カーブや折れ曲がった動線は、人々の期待感をそそる効果がある。
2. 施設計画において、見る・見られる関係を作ることは、施設内滞留時間を延ばすなど、様々な効果をもたらす。
3. 施設内部の賑わいを外に引き出して見せることは、集客力アップに効果がある。
4. 効率や利便性のみに着目した施設構成は、顧客の回遊・滞留を促す上で大きな効果をもたらす。

**【解説】**

4. 人間の感性や活動を重視した計画が重要である。「商業施設・創造とデザイン」 P.210～211 参照

**答 4**

---

**問題No.14**

一般に室内空気の汚染は、次のどの濃度によって判断されるか。

1. ヘリウム
2. 窒素
3. 二酸化炭素
4. イオン

**【解説】**

「商業施設・創造とデザイン」 VII. 建築計画2-(11) 建築と環境 P.244参照

**答 3**

---

**問題No.15**

防災・消防設備に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 泡消火設備は、駐車場には採用しない。
2. スプリンクラー設備は、初期消火に極めて有効である。

3. 防災センターは、消防隊との連絡の迅速化のために設置する。
4. 屋内消火栓設備の電源回路は、専用回路とする。

**【解説】**

「商業施設・創造とデザイン」 VI. 建築計画2-(5) 建築設備 防災設備 P.291参照

答 1

**問題No.16**

商業施設計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 基本構想計画段階では、市場調査やプランニングに基づき事業収支計画や資金計画、経営方針などを決定していく。
2. 実施計画段階では、基本計画から基本設計、そして実施設計をとおして工事契約をし着工する。
3. テナント誘致は、商環境計画の段階で作成されたコンセプトにもとづいて誘致活動に入っていくものである。
4. POSシステムとはPLACE OF SALESの略で売り場での売上げを上げるためのシステムである。

**【解説】**

POSシステムとはPOINT OF SALESの略で販売時点での情報管理システムのことである。  
「商業施設・創造とデザイン」 II. 商業を支える技術3-1 POSシステム P.45参照

答 4

**問題No.17**

解体撤去工事に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 建設リサイクル法の目的は、分別解体と再資源化の実施である。
2. 解体撤去時の発生材は、リユース、リサイクルできるものは資源として活用する。
3. 廃棄物処理法の「特別管理廃棄物」とは、爆発性、毒性、感染性その他、人の健康または生活環境に係る被害を生ずるおそれがあるものである。
4. 解体撤去による廃棄物の運搬または処分を他人に委託する場合は、産業廃棄物管理票（マニフェスト）制度による処理を実施する必要はない。

**【解説】**

4. 産業廃棄物管理票（マニフェスト）制度を運用する。  
廃棄物の処理及び清掃に関する法律：第12条3項（産業廃棄物管理票）

答 4

**問題No.18**

工事監理業務に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 工事監理は、工事着工前の工期チェックが含まれる。
2. 工事監理とは、工事が設計図書のとおり実施されているかどうかを確認することである。
3. 工事監理は施主の立場に立って行う業務である。
4. 施工計画は、工事監理者と施工者が共同で作成する。

**【解説】**

「商業施設・創造とデザイン」Ⅶ. 監理 1. 工事監理の役割 2. 監理業務の重要な機能  
P.368～371参照

答 4

**問題No.19**

基本設計段階の積算業務に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 事業計画をもとに、概略の積算を行う。
2. 部分別、部位別などの概算手法を用いた工事費の算出。
3. 維持管理上のランニングコストの算出。
4. コスト縮減のため、VEなどの手法を用いた代替案の提案。

**【解説】**

1. 企画段階での積算業務である。  
「商業施設・創造とデザイン」 P.379参照

答 1

**問題No.20**

各種仕上げ材料に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 陶器質タイルは、緻密で硬く、ほとんど吸水しない。
2. 大理石は石灰石が主成分であるから、酸に弱い。
3. 普通レンガは内装化粧積や床敷きに使われる。
4. 石こうボードの厚さは9.5mmと12.5mmの2種類がある。

**【解説】**

1. 陶器質タイルは多孔質で吸水性が良い。  
「商業施設・創造とデザイン」 P.408～412参照

答 1